

【再評価対象の基準】
 ア：事業費が予算化された時点から5年目においても未着工の事業
 イ：事業費が予算化された時点から5年目において継続中の事業
 ウ：5年目においても、準備・計画段階にある事業
 エ：再評価実施後5年が経過した時点で継続中または未着工の事業

令和2年度 再評価対象事業一覧表

注)※印欄は、令和元年度末の数値。

番号	事業主体	補助・ 県単別	事業名 [事業場所]	事業の内容	B/C	事業化 年度	完了予 定年度	現時点 での全 体事業 費 (A) (億円)	投資済 額※ (B) (億円)	事業進 捗率※ (B/A) (%)	全体延 長or面 積 (C) (km)又は (ha)	供用済 延長or 面積※ (D) (km)又は (ha)	供用率 ※ (D/C) (%)	未取得 用地面 積 (ha)	未取得 用地面 積率 (%)	事業の進捗状況等	再 評 価 対 象 の 基 準	事業費の予算化時点 or 前回再評価時点から の変更内容と変更理由 【事業期間、事業費、その他特記事項】	対 応 方 針 (案)	対 応 方 針 (案)を判断した理由	一 括 ・ 重 点
砂防分野																					
3	神奈川県	補助	瀬戸沢 砂防事業 [箱根町宮城野地先]	瀬戸沢 砂防堰堤 N=1基 H=12.0m L=47.8m	3.68	H27	R04	3	0	3	1基	0	0	0.28	26	用地取得は、令和元年度末までに74%完了し、残りの用地も既に合意を得ている。 土地の借地(無償)を行い、令和2年度は管理用道路の工事を着手し、令和4年度の完成を目指す。	イ	【事業期間の変更】 事業期間:5年延伸(H29→R04完了) (理由) ①用地取得にあたり、一部で事業協力を得るのに時間を要したため。	継続	本溪流の下流域には、多くの保全人家や、国道138号(第1次緊急輸送道路)、宮城野公民館(避難所)、消防分団などの保全施設が存在しており、土石流対策の重要性は高い。 本溪流内には、土石流発生の原因となる不安定土砂が多量に堆積しており、今後、土石流が発生する危険性があることから、事業を継続する必要があると判断する。	特別 重点